

平成19年度決算について

本学においては、6月末に平成19年度の財務諸表を文部科学大臣に提出し、9月10日付で文部科学大臣の承認を受けました。この財務諸表は、「国立大学法人会計基準」及び「国立大学法人会計基準注解」並びに「国立大学法人会計基準に関する実務指針」に基づき作成したものであり、広く国民の皆様には本学の財務状況をご理解いただくため、ここに公表いたします。

財務状況

- (1) 平成19年度末における資産は222億円、負債は74億円、純資産は148億円となっております。(貸借対照表参照)

資産については、前年度に対し、固定資産が、工具器具備品等の取得により28億円の増、流動資産が、現金及び預金の増等により3億円の増であります。減価償却費の27億円の増により、資産全体では、3億円の増となっております。

負債については、前年度に対し、固定資産の新たな取得により固定負債が4億円の増、未払い金の増により流動負債が8億円の増であり、合わせて12億円の増となっております。

- (2) 平成19年度においては、経常費用75億円、経常収益76億円、当期総利益1億円となっております。(損益計算書参照)

経常費用については、前年度に対し、教育研究の充実により教育研究経費が増加したほか、退職者増等により人件費が増加しました。一方、光熱水料の節減等一般管理費の削減に努めた結果、費用全体としては2億円増の75億円となりました。

経常収益については、前年度に対し、退職者増等により運営費交付金収益が増加しました。一方、授業料収益などが減少したことから、収益全体としては2億円増の76億円となりました。

この結果、当期総利益は1億円となりました。なお、当期総利益については、中期計画の剰余金の使途に従って、教育研究の質の向上及び組織運営の改善のために計画的に有効活用する予定です。

本学の財務運営におきましては、若年人口の減少や運営費交付金の減少等、厳しい状況下でございますが、効率的な大学運営を努めるとともに、教育研究活動の充実・発展に邁進する所存でございますので、皆様方の一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年9月11日

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学